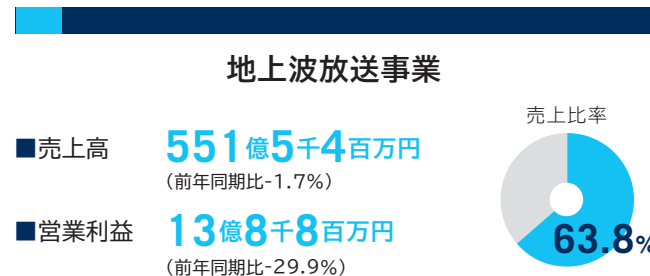


## 当上半期は、景気の先行き不透明感の中、減収、減益。 通期はグループの総力を結集し業績向上を目指す。



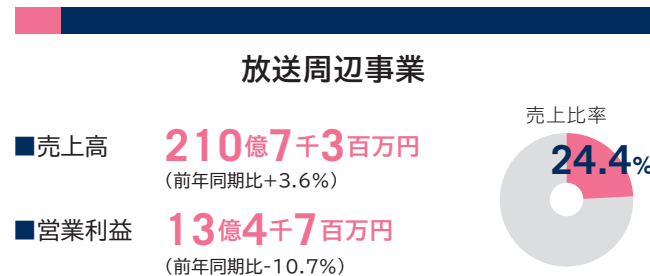
**1株当たり配当金** グループの成長と企業価値の増大、長期的な経営基盤の充実に向けた内部留保とのバランスを考慮し、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に応じた利益還元をめざす。1株当たりの配当金は年額20円を下限とした安定配当に加えて、業績に連動した配当として、連結ベースで配当性向30%を目標にしています。  
(2020年3月期 期末配当予想)1株当たり25円(年間配当は1株当たり40円)

<p>2020年3月期 業績予想</p>	<p>売上高 …………… 1,465億円</p> <p>(前年同期比-1.8%)</p>	<p>営業利益 …………… 51億円</p> <p>(前年同期比-14.2%)</p>
----------------------	--	---



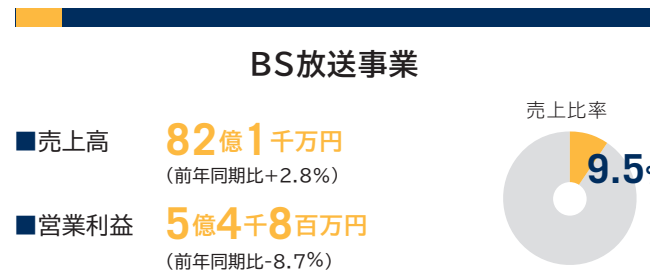
放送収入のうち番組を提供するタイムCM収入は、ローカル部門で7月クールベースアップを計画通りに実施できなかったことに加え、「2018 FIFA ワールドカップ ロシア」の反動等で減収となりました。また、番組の間に流れるスポットCM収入も、東京地区全体が低調だったことにより減収となりました。  
ソフトライツ収入では、「サ道」など配信会社との連続ドラマや「孤独のグルメ」過去作などの追加印税が好調でした。アニメ事業では、中国で「NARUTO」のゲームが好調だったほか、「BORUTO」などの配信も堅調に推移しました。

【連結子会社】(株)テレビ東京



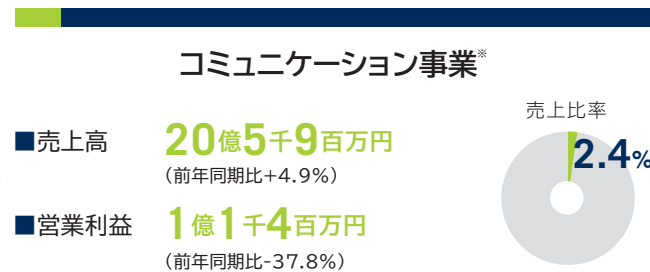
通信販売関連では、オリジナルゴルフクラブが大きく売上を伸ばしたほか、生活用品を中心とした通販事業の好調が続きました。  
CS放送関連では、アニメ専門チャンネル「AT-X」の加入者数の減少傾向が続きましたが、広告関連売上やライツ売上の増加でカバーし、増収となりました。  
音楽出版関連は、「Re:ゼロから始める異世界生活」をはじめ、アニメ関連楽曲の二次使用に伴う印税収入が想定を上回りました。

【連結子会社】(株)テレビ東京ミュージック／(株)テレビ東京メディアネット／(株)テレビ東京コマース／(株)テレビ東京アート／(株)テレビ東京システム／(株)テレビ東京制作／(株)テレビ東京ダイレクト／(株)テレビ東京ヒューマン／(株)テクノマックス／(株)テレビ東京ビジネスサービス／(株)イー・ティー・エックス／TV TOKYO AMERICA, INC.



放送収入では、スポット収入は市況全体が低調で振るいませんでしたが、タイム収入がそれをカバーし、放送収入全体で前年同期を上回りました。  
特番では、「プロ野球中継」での4試合の冠セールスが成立したことや「卓球T2ダイヤモンド」「全米プロゴルフ選手権」「男子バスケットボール日本代表国際試合」といった新規案件の実施など、スポーツコンテンツが売上に寄与しました。  
その他、オリジナル番組の二次展開が堅調に推移したことにより、売上を伸ばしました。

【連結子会社】(株)BSテレビ東京



キャラクター関連のデジタル、EC、ライセンス売上が堅調に推移し、動画広告売上が過去最高を記録したことで前年を上回りました。  
その他、クロスメディア事業拡大に向けたベンチャー企業との資本業務提携の実施等、事業開発にも積極的に取り組みました。

\*「コミュニケーション事業」は、従来「インターネット・モバイル事業」として表示しておりましたが、2018年度よりセグメント名称を変更しております。

【連結子会社】(株)テレビ東京コミュニケーションズ